

疑似体験教材 2 「プレゼントコーナー」

1. 対象 小学校高学年
2. 指導目標 ネットワーク上で個人情報が流出する危険性を知らせると共に、自分や家族の個人情報を慎重に扱おうとする態度を育てる。
3. 授業展開

段階	学習活動	留意点
導入	今までにプレゼントの応募をした経験について話し合う。	葉書や店頭での応募など自由に発言させる。
展開	<p>○疑似体験 疑似体験教材 2 「プレゼントコーナー」で、ネットワーク利用を疑似体験する。</p> <p>○課題提起 1 このプレゼントコーナーで、何か疑問に思ったことはありませんか。</p> <p>○課題提起 2 自分や家族の情報を入力するときには、どんなことに気をつけたらいいでしょうか。</p> <p>○解説 解説ページを参照し、個人情報を入力するときに注意すべき点を再認識する。</p>	<p>自分たちにも起こりうることであることを認識させる。</p> <p>応募に関係のない情報の入力がなかったか考えさせる。</p> <p>個人情報が流出した場合の危険性について考えさせる。</p> <p>オンラインショッピングについても簡単に触れるようにする。</p>
整理	<p>○自分たちの取るべき態度について、全体で話し合う。</p> <p>○ワークシートに授業の感想を書き、本時の学習をまとめる。</p>	ネットワークを便利に使っていくためには、慎重に行動する面もあるとする感想も引き出したい。